

令和 4 年 1 月 26 日（水）	資料 2
令和 3 年度 第 2 回 障がい児部会	

地域生活支援拠点等の整備について

1 地域生活支援拠点について

障がい者の重度化・高齢化や親亡き後を見据え、居住支援のための機能として、①相談、②緊急時の受入・対応、③体験の機会・場、④専門的人材の確保・養成、⑤地域の体制づくりを、地域の実情に応じた創意工夫により整備し、障がい者の生活を地域全体で支えるサービス提供体制を構築することが求められています。

2 今年度の協議について

地域生活支援拠点等の整備については、令和 2 年度自立支援協議会にて協議が進められ、令和 2 年度第 3 回目の自立支援協議会（書面会議）において、障がい者福祉センターが①相談、④専門的人材の確保・養成、⑤地域の体制づくりの機能を有する地域生活支援拠点と位置づけられました。

令和 3 年 2 月に策定した板橋区障がい者計画 2023 では、重点項目のひとつとして、地域生活支援拠点等の整備を位置付けており、各機能のさらなる充実に取り組んでいく必要があります。

第 8 期自立支援協議会においては、今年度機能強化を検討していく事項等について意見をいただき、区における体制整備を進めていきます。

3 地域生活支援拠点等運営検討会（以下「検討会」という。）における検討について

地域生活支援拠点等の整備にあたっては、運営に携わる障がい者福祉センター、行政関係部署等を中心とした検討会を開催し、自立支援協議会で出された意見などに対する現状と課題を整理し、自立支援協議会及びその他関連する定例部会と並行して検討を行っていきます。

4 令和3年度以降に取り組む課題について

【課題1 相談】

(1) 令和2年度自立支援協議会において示された検討の方向性

- 障がい者福祉センター（基幹相談支援センター）の機能移転・充実や、特定相談支援事業所等を活用した、緊急時に常時連絡が取れる体制（拠点）の検討・整備
- 障がいの特性に応じた相談、関係機関への円滑な接続ができる体制の検討・整備

(2) 令和3年度の実施

- 基幹相談支援センターの相談機能充実に向け、関係機関との連携について検討
- 夜間、休日等における虐待対応の検討
- 緊急時を想定し、支援が見込めない世帯の把握方法の検討

【課題2 緊急時の受入・対応】

(1) 令和2年度自立支援協議会において示された検討の方向性

- 区内短期入所施設との連携、協力体制の確保に向けた検討・調整
- 緊急保護事業（赤塚ホーム）における受入の充実に向けた検討
- 板橋キャンパス（令和5年3月予定）の短期入所施設における受入枠の確保に向けた調整
- 関係機関へ適切に接続しうる連携体制の検討

(2) 令和3年度の実施

- 短期入所施設への地域生活支援拠点の協力体制構築に向けた検討・調整
- 緊急受入を想定した赤塚ホームの有効活用に向けた検討
- 板橋キャンパス短期入所施設の整備状況の把握・協議
- 行政、福祉サービス事業所間の緊急時における連携体制の検討

【課題3 体験の機会・場の提供】

（１）令和２年度自立支援協議会において示された検討の方向性

- 区内共同生活援助（グループホーム）との連携・協力体制の確保に向けた検討・調整
- 板橋キャンパス（令和５年３月予定）の共同生活援助（グループホーム）における受入枠の確保に向けた調整

（２）令和３年度の実組

- 共同生活援助（グループホーム）への地域生活支援拠点の協力体制構築に向けた検討・調整
- 板橋キャンパス共同生活援助（グループホーム）の整備状況の把握・協議
- ハート・ワークの就労体験事業の有効活用に向けた検討

【課題4 専門的人材の確保・養成】

（１）令和２年度自立支援協議会において示された検討の方向性

- 研修の種類・内容等の充実を図り、専門的知識の拡充を図るとともに、人材確保に取り組む

（２）令和３年度の実組

- 重症心身障がい、強度行動障がい、高次脳障がい、医療的ケア等幅広い障がいを想定した事業所向け研修の検討

【課題5 地域の体制づくり】

（１）令和２年度自立支援協議会において示された検討の方向性

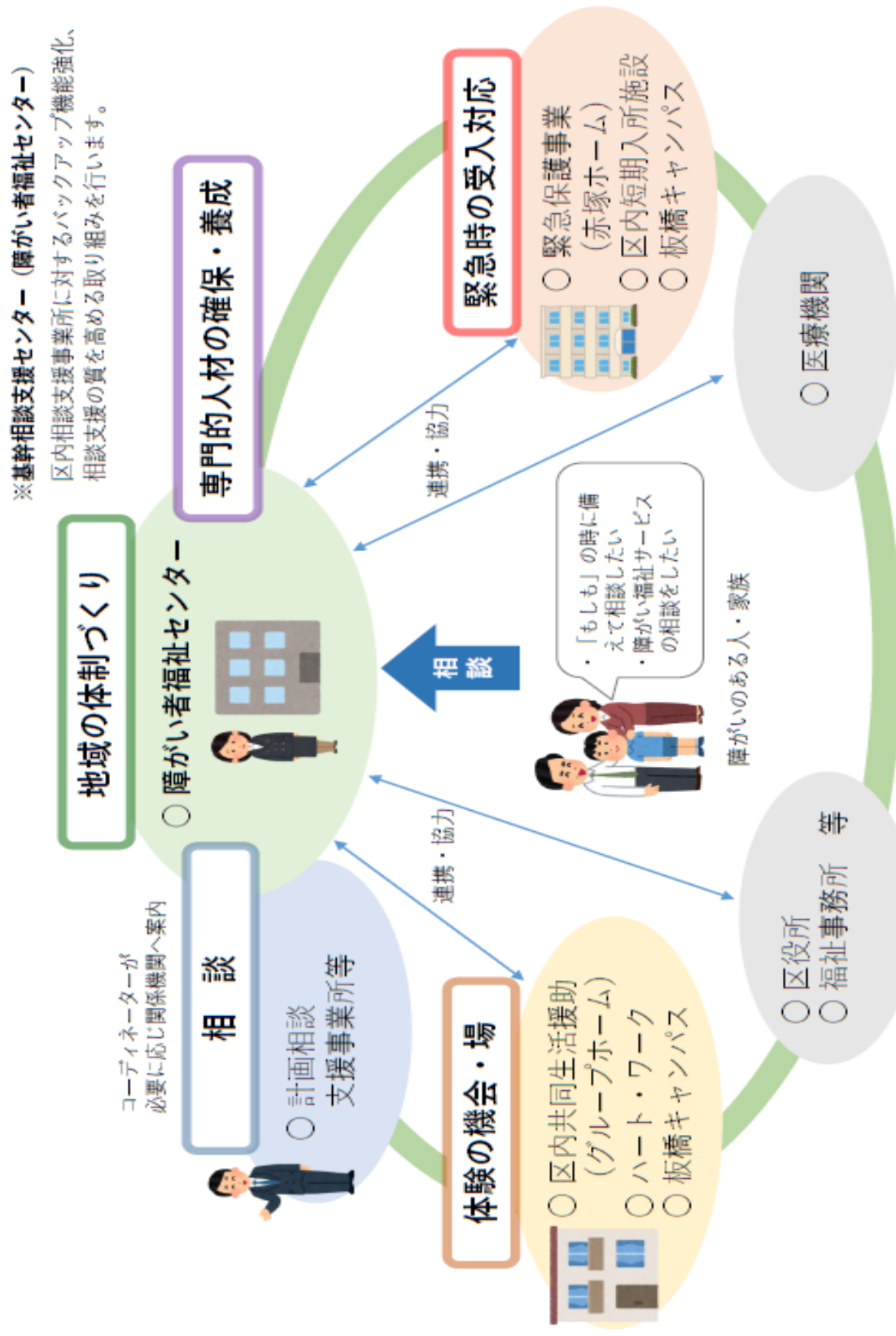
- 既存の連携体制の強化及び連携先の拡充による、ネットワークの充実を図る

（２）令和３年度の実組

- 地域で障がい者を支援していくため、関係機関との連携強化

板橋区の目指す地域生活支援拠点等の整備について

～住み慣れた地域で安心して生活ができるよう、「もしも」の時に備える地域を目指して～



緊急時の相談から受入対応（イメージ）

